

「長門市水産物販路拡大推進計画（案）」に対する意見
及びこれに対する市の考え方

■意見募集期間 平成22年12月10日（金）～平成23年1月5日（水）

■意見の件数 1名 3件

■意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	基本方針の（２）長門市水産物の付加価値化・販路開拓で、「新鮮で高品質」、「仙崎の魚の認知度及び評価向上」とあるが具体的な対応策が不明瞭です。客観的に判断できる ISO9000 取得や、脂質含有量の数値化（浜田漁港が実施）など、数字でアピールすることを提案します。	計画の実施段階において、経営方針等も踏まえて具体的に検討していく必要があると考えており、参考にさせていただきます。
2	運営計画の主力事業で「高度な凍結技術の導入」とありますが、CAS(Cells Alive System)凍結機の導入を提案します。装置導入には多額の費用が掛かると思いますが、小規模でも今から導入しノウハウを蓄積しておくことが将来的にプラスになると考えます。	計画策定にあたり、CAS 凍結機をはじめ、同様の凍結技術を用いた複数の機器を調査しました。具体的な導入機器は、計画の実施段階において、経営方針等も踏まえて選定する必要があると考えており、参考にさせていただきます。
3	主力となる生食向け食材はチェーン店へのチルド出荷が主体と想定されていますが、業者がチルドを求めているのか疑問です。チルド出荷となると納期が不安定でメニューに載らず、本日のオススメ的な扱いになる気がします。そこで「魚種によりワンフローズン出荷」ではなく「業者の希望に応じワンフローズン出荷」にすることを提案します。	ご意見のとおり実需者側には様々なニーズがあります。事業の特長として「顧客のニーズにきめ細かく対応した商材の加工を基本とする」と掲げていますので、ご意見の箇所も「顧客のニーズに応じてワンフローズン出荷」に変更しました。